

3大損傷のほかにも 多様な損傷原因

「塩害」「アルカリ骨材反応」「疲労」は「橋の3大損傷」とされ、放置することにより劣化が進み、橋の安全性に影響を及ぼす劣化要因です。
このほか、橋の形式別に「漏水による腐食」「凍害によるコンクリートの剥離」「コンクリートの中性化」など、さまざまな損傷原因があり、その原因に即した対応が必要のため日々のメンテナンスが重要です。

漏水による腐食(桁端部)



漏水による腐食(支承)



凍害によるコンクリートの剥離



コンクリートの中性化※



※中性化：本来コンクリートは強いアルカリ性ですが、二酸化炭素が浸透すると化学反応により中性に変化します。これにより鉄筋などが錆びやすくなってしまふ現象。